

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌 January 2009 No.52

“Q” AOIは音触館

AOI Information Magazine

楽しむ



手にとるように、音と遊ぼう。



JR
JR東海

新たな年2009年も、そろそろ1ヵ月が過ぎようとしています。

遅ればせながら、皆さん、あけましておめでとございます。本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、新しい年の幕開けを、皆さんはどの様にお過ごしになりましたか!?

私たちAOIは、1/7に開催された「ベルリン・フィル八重奏団」によるニューイヤー・コンサートから、

また新たな1ページを記しはじめた訳ですが、AOIでは、毎年著名な音楽家を招いて、世界も注目する良質な音楽をリーズナブルにお届けしているのと同時に、開館以来、次代を担う子どもたちの育成にも力を注いでいます。

そこで今回は、その代表的な活動でもある「子どものための音楽ひろば」にスポットをあて、日頃の活動の目的や成果、

並びに今後のビジョンなどについて、この「ひろば」の“塾長”でもあるAOI芸術監督の野平一郎先生と、

さらにこの「ひろば」の名物授業〈こんにゃく体操〉の志村泉先生にお話を伺った模様を、特集してご紹介してみようと思います。

両先生のお話の中に、『楽しむ音』の素（ヒント）が素敵に溢れていましたよ…



まずは体で感じて、遊び、戯れ、創造する…そんな環境の中から、次代を担う「音楽好きな子」が、のびのび巣立っています。



Q.まず“塾長”の野平先生にお尋ねします。

「子どものための音楽ひろば」は、どんな目的で、普段どの様な活動をされているんですか？

この「子どものための音楽ひろば」は、前任の芸術監督・間宮芳生先生が立ち上げ、私の代でも氏の志を引き継ぎ、より精力的に行っている活動なんです。ここでは、決して子どもたちを未来のプロの音楽家＝いわゆる専門家に育てよう、という目的で活動している訳じゃないです。ひと言で言うなら、この講座は“音楽好きな子を育てる場”なんですね。

コンサートホールの芸術監督をお受けしてみて、私自身あらためて痛感していることなんです。年々、コンサートホールに足を運んでくださるお客様は、どんどん高齢化してきている、というのが現状です。

若い人たちにAOIの様なコンサートホールに、もっともっと足繁く通っていただき、気軽に、心から音楽を楽しんでもらえる様な環境づくりや、社会を育成していかないと、私たち音楽家や、AOIの様なホールの未来も危ういぞ!（笑）、とさえ思ってしまう訳です。

そこで若い人たちが、もっとあたりまえの様にコンサートホールに足を運んでくれる社会＝環境づくりを、全国に先駆けAOIが率先してやってみよう、とはじめたのが、そもそもの目的なんです。ですから、この「ひろば」は、子どもたちが将来大人になって、ごく普通に、そして頻繁にAOIの様なコンサートホールに足を運んでくれる、より健全で、心豊かな社会を形成していくためのいわば“礎づくりの場”とも言えるんです。

そんな志の下、普段私たちが行っている具体的な活動（講座）は…という文字通り多岐に渡っていて、〈リズム遊び〉や〈音遊び・作曲〉、〈うた〉、〈こんにゃく体操〉など、耳や目、手、足、頭などの体のいろんな部分を

使って、子どもたちが直感的に音楽と触れあいのびのびと楽しめるような、体感的カリキュラムが主体で構成されています。この様なカリキュラムで構成している根底には、実はこの「ひろば」が、ただ単に音楽を楽しむ術を学ぶ、というコトだけに留まらず、これらの経験を通して自らの視野を広げ、子どもたちに「人にモノ（自分）を伝える＝自分の想いを表現できる様にする」、すなわち「人（人間）としての根源」の基礎を学びとって欲しい、という、大きな狙いもあるんです。

Q.そんな「ひろば」のカリキュラムには、〈こんにゃく体操〉という中でもとびきりユニークな講座があるそうですが…

〈こんにゃく体操〉を担当している志村です。

この「子どものための音楽ひろば」では、日本を代表する打楽器奏者の松倉利之先生が担当する〈リズム遊び〉、作曲家の原田敬子先生が担当する大人気の〈音遊び・作曲〉、さらに合唱指導者として名高い戸崎裕子先生&戸崎文葉先生が担当する〈うた〉など、私たちプロの音楽家からみても、本当に贅沢だな（笑）…と思う、日本音楽界の第一線で活躍中の先生方による充実したカリキュラムなんです。私が担当する〈こんにゃく体操〉は、実はあの“芸大生まれ”なんですね。



〈こんにゃく体操〉は別名・野口体操とも呼ばれていて、東京芸術大学名誉教授の野口三千三先生（1914～98）が創始された、芸大出身の音楽家や演劇関係者などの間ではおなじみの、いわゆる“脱力体操”なんです。だから、この体操はいわば大人のために開発されたモノで、



子どもを対象とした音楽講座で活用している例は全国的に見ても珍しく、多分ここAOIだけじゃないかな!? という意味でも、全国の音楽関係者からも注目を集めている講座、と言えるでしょうね。

この体操の本来の目的は、体から余分な力を抜く＝脱力することで、自らを解放&開放して、集中力を養おう（高めよう）! というものなのですが、私はこの「ひろば」で、子どもたちにこの体操を通して柔軟性や発想力等も養ってもらい、「音楽を自分の中で感覚的にとらえる」ことや、「自分の中に眠っている（潜んでいる）可能性や創造力」を養い、高めていって欲しい、と思って子どもたちと接しています。

私はこの「ひろば」の開設当初から、〈こんにゃく体操〉を通して数多くの子どもたちと接してきた訳ですが、最初はモジモジとして戸惑っていた子どもたちが、次第に考え（創造し）、イキイキと快活に自分を表現しはじめ、自分の才能を開花させていく、という嬉しい事例を、本当に数え切れないくらい目の当たりにしてきました。そんな子どもたちの姿を見るにつけ、子どもたちの無限の可能性と、先入観のない底知れぬ吸収力や好奇心にいつも驚かされ、発見もいろいろさせてもらっているんです。

Q.では最後に、今後のビジョンなどについても教えてください。

とにかく、この「ひろば」を通して、子どもたちには今後も音楽の素晴らしさや楽しさを肌で感じ、自らの中に眠っている才能を素敵に開花させていって欲しいな、というのが、私たち講師陣全員の願いです。

そんな思いをさらにカタチにすべく、実は来期から現行のカリキュラムに加え、新たに「演劇」と「ダンス」の講座も取り入れる予定です。このカリキュラムの追加には、どんどん多様化している子どもたちの興味（好奇心）をさらに刺激し、より深めてあげたい、という狙いと共に、子どもたちの創作力をより高める、きっかけづくりになれば…という想いもあります。



志村泉（ピアニスト）

東京生まれ。4歳からピアノを始め、東京芸大、同大学院卒。在学中にクロイツァー賞、1988年、中島健蔵音楽賞を最年少受賞。79年のデビュー・リサイタル以降、林光の作品を多く初演するなど、現代日本の作品を積極的に取り入れたプログラムや、テーマ性のある内容のリサイタルを国内外で数多く行い、注目を集める。そのほかにもオーケストラとの共演、「オペラシアターこんにゃく座」でのピアノ・オペラ、歌曲、合唱の伴奏、室内楽でも活躍。98年以降は第二次大戦中テレンジンの強制収容所内で作曲された作品の演奏を積極的に行う。2006年5月、子どもたちの感性に音楽を届けることを意識したコンサート「音楽の森」の活動を、また11月には地元武蔵境スウィングホールにて、「武蔵野の秋・春」のコンサートシリーズを開始。その独自の視点を持った幅広い活動が、高く評価されている。



これにより、例えば、音楽と演劇とダンスを素敵に融合させた、子どもたちによる“ミュージカル公演”なんてことも、将来実現させてみたいと思っているのです。

またさらに、このプロジェクトの一環として、子どもたちを対象としたコンサートなどを開き、教える私たちがプロとして真剣に取り組む本来の姿を、子どもたちの前で披露する機会を設け、“大人が真剣に取り組んでいる姿”を、良い意味でもっともっと見せつけ（お手本として子どもに示し）、真剣に物事に取り組むこと、真剣に生きることの大切さや素敵などを、身をもって教授できれば、と思っています。

その一例として、今年の12/19にこの二人で、ピアノ2台による「子どものためのミニ・コンサート」を開催します。

楽しいサプライズも満載でお届けする予定ですので、ぜひ親子でお越し下さいね。

AOIの「子どものための音楽ひろば」の魅力は、残念ながらこれだけではとても語り尽くせませんが、この特集が、もし日頃から音楽を通して、お子様の無限の可能性を素敵に開花させてあげたい…などとお考えのお父様・お母様の、一つのヒントとなり、子どもたちがこの「ひろば」に参加してくれるきっかけとなれば、幸いです。

子どものための音楽ひろば
第11期受講生 只今募集中!

詳しくは、当館7階・インフォメーションまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※「子どものための音楽ひろば」の実際の活動模様等については、次ページP3 & P4、さらにP5でもご紹介しておりますので、ぜひご覧下さい。



野平一郎（作曲家・ピアニスト）

1953年生まれ。東京芸大、同大学院修士課程を修了後、78年、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。卒業後も、各講習会やイティナール、IRCAMにおいて、電子音楽やコンピュータ音楽を学ぶ。ピアニストとして、内外の主要オーケストラにソリストとして数多くの初演に携わる一方、名手たちと共演し、伴奏、室内楽奏者としても活躍。作曲家としては、4曲のフランス文化庁委嘱作品をはじめ、数多くの委嘱作品があり、著名なアンサンブルやソリストたちによって演奏、放送され、主要作品はアンリ・ルモワナ社（パリ）より出版されている。その多彩な活動により各方面から多大な評価を受けている。武井賞（90年）、第13回中島健蔵音楽賞（95年）、第44回尾高賞、第46回芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都市音楽賞実践部門賞（98年）、第35回サントリー音楽賞（2004年）、第55回芸術選奨文部科学大臣賞（2005年）を受賞。90～2002年、東京芸大助教授。2005年より静岡音楽館AOI芸術監督。



AOI 育ち

おたまじゃくし奮闘記

AOIでは開館以来、「次代を担う子どもたちの育成」にも情熱を注いでいます。その代表的な活動と言えるのが、この「子どものための音楽ひろば」。第10期目となる今回は、141名の応募者の中から抽選で選ばれた、小学校4年生～中学校1年生までの70名の子どもたちが、ここでイキイキと様々な経験をしています。

そこで今回は、小学校4年生の時から参加している6年生の小林恵太郎君と、今年度からお兄ちゃんと一緒に参加している、4年生の小林万莉ちゃん兄妹に、クリスマス★コンサート前に、この「ひろば」についてインタビューした模様をご紹介します。子どもならではのカワイイ本音もいっぱい飛び出して、この「ひろば」での普段の体験模様などが、楽しく垣間見れますよ。

この「ひろば」に入ったら、きっかけは!?

【恵太郎君】●歌や音楽が好きだったから、お母さんが持ってきたチラシを見て…
【万莉ちゃん】●お兄ちゃんが先に入っていて、楽しいって言うていたから。お兄ちゃんがやってる、学校ではやらない打楽器を、私もやってみたかった。



入ってみてどうだった!?

【恵太郎君】●最初は、歌を歌ったり、楽器を演奏するだけだと思っていたんだけど、ただ楽器を弾くだけじゃなくて、どういう風に楽器を鳴らすのかも教えてくれたり、みんなで一緒に演奏したりとか、イメージしてたのより100倍楽しかった(笑)。でも、まさか作曲をするとは思わなかったな。はじめは、僕に作曲できるなんて思ってたんだけど、やってくうちにドンドン楽しくなってきて、作曲できた。

【万莉ちゃん】●タンブリンは叩くのが本当は難しいことがわかった。ほかの打楽器(ギロ、トライアングル、カウベルなど)も…とにかく学校でやらないことをやるので、すごく楽しい。特に原田敬子先生の授業では、作曲をしてビックリした。いまは作曲の授業が一番楽しい。私が書いた詩に、原田先生がちょっと伴奏をつけてくれたら、すごく良い曲になってビックリ(笑)。



「ひろば」でのお友達はどう!?

【恵太郎君】●最初は知らない友達ばかりだから、心配で不安もあったけど、今は学校の友達とはちょっと違った、そうっ! 音楽を通じての友達だから「特別な友達」、って感じかな。

【万莉ちゃん】●最初は一人ぼっちだったけど、話しかけたり誘ったりすると、みんなやさしくて…音楽のことや、「ひろば」のこと、ピアノのことなど、いろいろ教えてくれる。それとね、「ポテの会」ってやって、休み時間やお弁当の時間に、仲良しの子とポテのお菓子の食べっこ交換会をするのが楽しい(笑)。



恵太郎君は3年目だけど、なぜ続けているの!?

【恵太郎君】●やめたくないから…(笑)。1年目は何をやっていいかわからなかったけど、2年目になってそれがわかってきてレベルアップした(笑)、一緒に続けてきた友達とはもっと仲良くなって、はじめてきた子にも教えてあげられるようになった。3年目の今は、さらに慣れてきて、ただ歌うだけじゃなくて、工夫したり、付け加えたりできるようになった。もっと続けていって、音楽をもっと好きになって、歌を作ったり、打楽器がうまくなったりしたいんだ。



「ひろば」って、ひとりでいうとどんなところ!?

【恵太郎君】●音楽でいろんな人とつながる場所。音楽が好きになる場所。ここに来て、音楽を嫌いになったり、今までと変わらない人っていないと思う。みんな、楽器や歌が好きになると思う。

【万莉ちゃん】●楽器とかピアノとか、すごく上手な人(先生)が、学校ではやらないことのやり方を教えてくれるところ。



クリスマス★コンサートに向けてひと言

【恵太郎君】●心を込めて一生懸命歌う自信作だから、聴いてくれるお客様も、ただ聴くんじゃなくて、どんな思いを込めて歌っているのか…とか、想像しながら聴いて欲しいな。

【万莉ちゃん】●お客様にたくさん拍手してもらったり、すごいなって言われるように、「ひろば」のみんなと心を込めて歌うので、ぜひ聴いてください。

子どものための音楽ひろば第11期受講生只今募集中!

【ひろば】の塾長 野平一郎(のひら いちろう) 作曲家・ピアニスト ※この「ひろば」をはじめ、AOIの全活動をプロデュースしています。

【リズム遊び】 担当講師: 松倉利之(まつくら としゆき) 打楽器奏者 ※マラカス、タンブリン、カスタネット、たいこ…。

【こんにやく体操】 担当講師: 志村 泉(しむら いずみ) ピアニスト ※本職はピアニストですが、その名もユニークなこんにやく体操「ひろば」の名物講座を教えてください。

【音遊び・作曲】 担当講師: 原田敬子(はらだ けいこ) 作曲家 ※鼻歌でふふ〜んと口ずさんだメロディーを、君だけの曲に仕上げちゃう、毎年大人気の授業。

【うた】 担当講師: 戸崎裕子(とさき ひろこ) 戸崎文葉(とさき ふみよ) 合唱指揮者 ※お腹の底から、力いっぱい声を出して、歌うことで自分をステキに表現しちゃおう!

【その他にも課外授業などのお楽しみいろいろ】ご紹介のクラス授業以外にも、コンサート鑑賞やコンサートのお手伝い、静岡科学館へ・くに出掛けの課外授業や、ワークショップなど、いろんなお楽しみが…
■お申し込み・お問い合わせは、7階・インフォメーションセンターまでお気軽に

ドキュメントAOI

2008
12/23(火)祝
15:00開演

「子どものためのクリスマス★コンサート」編

今回は、昨年12/23に開催された「子どものためのクリスマス★コンサート」の舞台裏に密着。

10:30
ゲネプロ開始!



↑芸術監督の野平先生は、今回指揮者としても大活躍



↓7Fの講堂で戸崎先生のご指導による合唱の最終チェック



←タンブリン、マラカスなどを手に、緊張気味に出番を待つ子どもたち

12:00

→中川さんのパイプオルガンのリハ風景



↑ギタリスト福田さんのリハ風景(思わずうっとり…)



↑ステージ上での最終リハもバッチリ!



↑さあ、リハから元気づけ、リズムミカルに入場行進!

13:00



↑舞台上で楽しそうに談笑する福田さん(ギター)・川本さん(ヴィオラ)・高橋さん(ピアノ)



↑AOI育ちの美人トリオを舞台袖でバジャリ。左から小杉さん(ヴァイオリン)・岩城さん(フルート)・村田さん(クラリネット)



↑フランス製のお洒落なギターケースと福田さん



↑お客様にお配りするパンフやクリスマスデコレーション



↓前ページでご紹介の小林万莉ちゃんと仲良し3人組(休憩時間に)

14:30
開場



15:00
開演

→ステージ上に吊り下げられたクリスマスツリーに、出演者・スタッフ・ご来場者みんなで賑やかに飾り付け



→8Fエントランスではクリスマスツリーがお客様をお出迎え



←さあ、いよいよ会場。お待ちかねのお客様がドッと受付に…

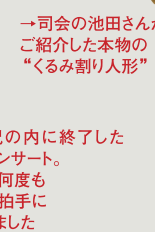


↑本番の演奏風景

←一番直前、「ひろば」の子どもたちは1F後部座席にスタンバイ。「静かにするように!」とのスタッフの指示にちょっぴり緊張(笑)



↑司会役のダンディな池田さん(バリトン)



→司会の池田さんがご紹介した本物の「くるみ割り人形」



↑コンサートの最後には大抽選会のお楽しみも!



↑素敵なプレゼント&抽選会の進行に会場も大盛り上がり!



←「エーデルワイスの種(司会の池田さん)」など出演者それぞれに趣向を凝らした素敵なプレゼントが…



↑コンサート終了後、お客様は出演者のCD販売コーナーに

楽しむ音

[TANOSHIMUNE]

静岡といえば、「下田」に「桜えび」に「浜納豆」。

これが、私ならではの“お気に入り”なんです。

私のshizuoka
お気に入りスポット Vol.3
池田直樹さん(バス・バトン)の巻



年に何回も静岡を訪れている私にとって、ここAOI近辺にお気に入りのスポットは本当にたくさんあるのですが、今回はちょっと趣向を変えて、私ならではの“お気に入り”をご紹介しますみたい、と思います。

まず最初にご紹介したいのは、伊豆下田にある『吉佐美大浜海水浴場』。

私にとってここは、静岡の中で一番“お気に入り”の寛ぎスポットなんです。特に夏の休日などに、毎年のように家族で出かけ、一日中ブカブカと波に身を任せて浮いていたり、キレイな砂浜でボウ〜(笑)としたり、海水浴場の脇にある小さなレストランで本格的なカレーと生ビールを楽しんだり…と、とにかくスイッチを完全にOFFにして、数少ない休日を目一杯、のんびり満喫する、とっておきの場所なんです。

ここのお気に入りポイントは、なんとと言っても“何にもないのが最大の魅力”。下田と聞くと、若者たちで賑わう雑然とした海岸を皆さん連想されると思うのですが、ここは下田でもちょっとハズレのため、若者たちではなく、もっと大人の方や家族連れが主体で、今風!?の賑やかなBGMや海の家等も少なく、本当に静かで、のんびりと寛げる穴場なんです。それと、海の中や砂浜にゴミがまったくなく、とにかくキレイ! というのも、何よりの魅力ですね。よろしかったら、皆さんも今年の夏休みにでも、ぜひお出かけ下さい。

そして、私のもう一つの“お気に入り”は『由比の桜えび』。

この『由比の桜えび』は、言わずと知れた静岡を代表する名産品ですが、私は旬の時期になると生の桜えびを求めて由比まで足を運び、それを家で料理して楽しむんですよ。ではここで、〈シェフ池田〉イチ押しの「桜えびの卵焼」をご紹介します(笑)。まず、生桜えびをオリーブオイルで香ばしく炒め、それを溶き卵にまぜてフワフワと焼き上げる…という、超簡単料理なんです。香ばしい桜えびの香りと味がとびきりの、まさしく病みつきになる美味しさですよ。

さて、最後にご紹介するのは、単なる“お気に入り”というより、私にとっては特別な思い出が詰まった《懐かしいお気に入り》、浜松の『浜納豆』です。実はこの『浜納豆』は、30年程前に亡くなった父が、鹿児島から東京へ出張帰りに必ずお土産で買ってきてくれた…という幼い頃の思い出の味。かの徳川家康公もこよなく愛した、という昔ながらの(素朴な)大豆の発酵食品ですが、お茶漬けや、お酒のおつまみ等にも最適ですよ。よろしかったら、こちらもぜひ皆さんご賞味あれ。

※このコーナーでは、AOIゆかりのアーティストの皆さんから、今後も様々なお気に入りスポットをお教えいただきご紹介予定です。どうぞ、お楽しみに…

STYLISH
AOI
スタイリッシュAOI

AOIにご来館いただいたお客様の中から「素敵だな」と、スタッフが感じた方々をご紹介します。今回は昨年12/23に開催されたクリスマス★コンサートにお越しいただいたご来場者からピックアップ(＾o＾)



静岡音楽館倶楽部会員の静岡市駿河区西脇にお住まいの小林睦子さんと秀介くん(3才)親子のお誘いで、今回初めてAOIに来てくれた馬場しのぶさんと要くん(3才)親子の4ショット。シュウくんもカナメくんもバッチリ決まってたよ。



静岡市駿河区馬淵からお越しの、佐々木美帆さんと麻有ちゃん(2才)親子の2ショット。マユちゃんの可愛いポーズに、AOIサンタもメロメロでした…(笑)

※今後もこのコーナーでは、自分流の素敵なお洒落を楽しんでAOIにお越し下さる皆さんを、スタッフの独断でチョイスしてご紹介していこう、と思っています。さて、次のターゲットは、アナタかも…。

AOIふれあい伝言板

お客様から頂戴したご意見・ご要望をQ&A形式でご紹介

Q1.
(10/3 プラヴィオー・アンコール「ハーゲン弦楽四重奏団 ベートーヴェンのタペ」コンサートで) スピーカーのノイズが酷く、演奏に集中できなかった。
(袋井市・戸館様 ほか)

A1. 日頃より静岡音楽館AOIをご利用いただき誠にありがとうございます。去る10月3日に開催いたしました「ハーゲン弦楽四重奏団」の公演の際、ステージ脇に設置しておりますスピーカーより雑音が発生する不具合がありました。とくに当該のスピーカーに近いお席のお客様には、演奏会の鑑賞にあたりご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。調査の結果、事故の原因は機器の経年劣化によるものとみられ、緊急に不良箇所の修繕および調整を行いました。機器についてはこれまでも定期的に点検を実施し、適正な性能の維持に努めておりましたが、今後、同じような不具合が起きないように、最善を尽くしてまいります。今後とも静岡音楽館AOIの事業・運営につきましてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q2.
会場の雰囲気や音の響き、係員のマナーが大変良いですね。
(葵区・山梨様)

A2. お褒めの言葉を頂きまして、ありがとうございます。当館の音響につきましては、国内外より好評を頂戴しております。今後も多くの方にご利用いただき、この響きの良さを体感していただければ幸いです。また、ご来場のお客様に喜んでいただけるよう、スタッフ一同、一層努力して参りますので、今後ともご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

Q3.
10/23「レイフ・オヴェ・アンスネス ピアノ・リサイタル」の感想(浜松市・内藤様)

A3. アンスネスのピアノ演奏は、以前に東京の紀尾井ホールで聴いたことがあります。当時彼は、「とても繊細なピアニスト」と言われていましたが、実際に聴いてみると、強音で弾き通すといった印象で、とてもがっかりした記憶があります。

今回のリサイタルは、その時から何年も経っており、「現在はどうな演奏をされているのだろうか。」という思いから貴ホールに伺いました。今回は期待を裏切られることなく、とても抒情性を感じられる演奏を楽しむことができました。アンスネスが勉強されたベルゲンには、過去2回行っていますし、私は現在、アマチュアのピアニストとして活動していることから、とても親しみの持てる演奏会でした。本当にありがとうございました。

A3. アンスネスは、現在「世界の10指」として数えられるほどの名ピアニストです。今回の日本ツアーでも日本のファンを魅了し、どの会場でも絶賛を博した様です。当館でも素晴らしい演奏を披露してくれました。コンサート終了後、ご丁寧に郵送にて感想をお寄せくださり、誠にありがとうございます。またのご来場を心よりお待ちしております。

★このコーナーでは、今後も皆様から寄せられた様々な声をピックアップしてご紹介予定です。どうぞお気軽に、ご意見・ご要望等をふるってお聞かせ下さい。

音
うつつ

音楽こぼれ話



AOI学芸員・小林旬の

最近ほんとうに嬉しいのは、かつてAOIで音楽に触れた子どもたちが、いま、それぞれに成長しているのを識るとき。AOIが開館して10年を超え、そういう人たちがだんだん現れてきた。

入川舜は小学生のときAOIのリコーダー・アンサンブル講座と「子どものための音楽ひろば」に参加、中学生のときはピアノで「静岡の名手たち」オーディションに合格し、高校生でコンサートシリーズに抜擢されて、東京芸大に進んで「ピアノ伴奏法講座」の受講生に選ばれるなど、ずっとAOIと関わってきた。彼は高校生までAOIのコンサートをほとんど聴いたはずだ。大木麻理は小学生のときにAOIでオルガンに魅せられ、それから足しげくAOIでオルガンを練習して東京芸大に進学、去年、企画募集事業に選ばれた初のリサイタルでAOIを満席にし、「静岡の名手たち」にも合格した。彼女も「ひろば」の受講生だった。ピアノをやめようかと考えていた高校生のとき「静岡の名手たち」に合格、それが転機となり、いまや映画やTVなどの音楽で大活躍の松谷卓。彼は今年10月2日、弦楽四重奏を率いてAOIに帰ってくる。

AOIのランチタイム・コンサート
幸田浩子(ソプラノ) 野平一郎(ピアノ)
2/5 [木] 11:30開演(11:00開場)
全自由¥1,500(会員¥1,350、大学生以下(28歳以下)¥1,000)

夜出かけるのはちょっと…昼間にコンサートが聴きたい! コンサートへ行ってみたいけど、長かったら嫌だなあ…

そんなお客様の要望にAOIが応えました。今回お届けするコンサートは歌とピアノの協演。世界の名門歌劇場などで活躍し、華と実力を兼ね備え、今最も注目を集めているソプラノ 幸田浩子が澄み渡る声を、世界的ピアニストである野平一郎が最高の音を奏でます。曲目も教科書でおなじみの山田耕筰やモーツァルトの〈きらきら星〉からオペラ曲までボリューム満点。1時間と短いコンサートなので初心者の方もご安心です。是非ご家族やお友達とお気軽にお越しください。

子どものためのコンサート/シリーズ・若い翼
若い作曲家から子どもたちへのプレゼント
3/1 [日] 15:00開演(14:30開場)
全指定¥2,500(会員¥2,250、大学生以下(28歳以下)¥1,000)

毎年AOIが行っている新作委嘱プログラム。今年はAOI初の試みとして、海外でも高い注目を浴びている“今が旬”の3人の若い作曲家達が子どもたちのために特別に書き下ろした曲たちが子どもたちの感性や想像力を素敵に刺激してくれます!!

それぞれの感性を夢あふれる音の世界に素敵に映した、ドキドキワクワクがスパークする玉手箱のようなコンサートです。子どもだけではなく、大人も思わず引き込まれましょう魅力的なひとときを、ぜひご家族でお楽しみください。

第3期ピアノ伴奏法講座 修了コンサート
3/15 [日] 15:00開演(14:30開場)
全自由¥2,000(会員無料、大学生以下(28歳以下)¥1,000)

日本を代表する作曲家、ピアニストであり静岡音楽館AOI芸術監督である野平一郎が主宰する「アンサンブルができるピアニストを養成する講座」に選抜された6人の受講者が、国内外でも活躍しているフルート奏者佐久間由美子、ヴァイオリン奏者漆原啓子と共に美しい音楽を奏でます。また、講師3人による共演も聴き逃しません。全国的にも珍しいこの講座は年々来場者数を増やし、好評を博しています。まだ講座へ足を運ばれていない方も、この機会にぜひその素晴らしさを実感してください。

会員券及び
学生券の販売は
「AOI窓口のみ」で
お取り扱いします

コンサートシリーズ09
NEXT
INFORMATION

楽しむ
音

AOI 育ち

～AOIゆかりの～
PICK UP
アーティスト

Vol.3

フルート奏者
岩城昌代

AOIは”気持ち良くなれる”場所♪

富士宮出身の私がAOIで初めて演奏したのは、2003年の新人演奏会でのことでした。その時、スタッフの皆さんがすごく優しく、親切に接して下さったのと、ホールの音響の素晴らしさに感動し、とても“気持ち良くなった”のを、今も鮮明に憶えています。その翌年から私は日本を離れ、3年ほどフランスに留学していたので、次にAOIを訪れたのは2008年の「静岡の名手たち」コンサートで…と、それから約5年後だったのですが、その時もこのAOIの環境そのものが、私にとってはまるで故郷に帰ってきたみたいにすごく居心地が良く、“気持ち良いな…”とあらためて実感し、以来、訪れる度に、とても幸せな気分らせてもらっているんです。

私が留学していたフランス、というかヨーロッパでは、演奏家とお客さんが一緒（一体）になって音楽を楽しむ、というスタイルがあたりまえで、私はそれがとても好きだったのですが、そういう音楽の楽しみ方は、残念ながらここ日本ではまだまだ…と感じてしょ。でもここAOIでは、私たち演奏家とお客さんが一緒に音楽を楽しめる…てことが、ごく自然に実感できる点が、きっと、私がここで“気持ち良くなれる”理由なんでしょうね。

私は中学生の時にブラスバンドでフルートと出会い、その時の先生のおかげもあって、フルート、というか音楽の魅力にどんどん惹き込まれていったのですが、ここAOIでは、今回参加させていただいたクリスマス★コンサートの様に、幼い頃からハイレベルの音楽と接する、全国的に見てもとても恵まれた機会を創ってくれているので、同郷の子どもたちにはこういう機会を積極的に活用して、音楽をもっともっと好きになっていって欲しいな…と思います。だって静岡はもともと東京などの都会に比べ、楽器なども思う存分練習できる“恵まれた環境”なんだから…(笑)



2008.9.20 第13回「静岡の名手たち」コンサート

《プロフィール》

岩城昌代（フルート）
Masayo IWAKI (Fl.)

13歳よりフルートを始める。国立音楽大学卒業後渡仏し、パリ12区立音楽院に入学。
フルートのディプロムを満場一致の最高賞取得。
静岡県音楽コンクール第2位、第6回荻窪音楽祭オーディション合格、同演奏会出演。
フランス・ピカルディ音楽コンクール第2位、フルート四重奏にて、TIAA全日本クラシック・コンクール審査員賞受賞。
2006年、ソロ・リサイタル開催。
2008年、第13回「静岡の名手たち」オーディションに合格、コンサートに出演。
これまでに、村林涼子、石原利矩、菅原潤、瀬尾和紀、カトリヌ・カンタン各氏に師事。
現在、オーケストラのエキストラ、室内楽、フルート講師として活動中。

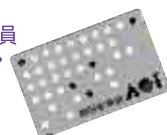
目録 INFORMATION

静岡音楽館倶楽部 会員募集中!!

会員優先発売・チケット割引などの特典もいろいろ!

ご入会は、さらにお得な
今がチャンス!!

【期間限定】
平成21年度 静岡音楽館倶楽部会員
ご入会キャンペーン



《いまなら…》

〈特典1〉
大萩康司 ギター・リサイタル (3/13(金))
へ無料で招待!

〈特典2〉
ピアノ伴奏法講座 修了コンサート (3/15(日))
へ無料で招待! ★野平一郎 漆原啓子 佐久間由美子
3名の講師によるミニ・コンサート付き!

※特典1,2は定員に達し次第、終了とさせていただきます。

《さらに…》

通常会費のみのお支払いで、
会員有効期間が最大で3ヵ月分もお得!!

1月からスタートしたキャンペーン期間中にご入会いただくと、
会員期間はご入会日からなんと翌年の3月末日まで有効で、
2,000円です。

《もちろん…》

その他にも、うれしい通常特典がいっぱい。

- 各コンサートチケット10%OFF (1公演2枚まで)
- 各チケット先行発売! (一般販売前にいち早くチケットをGet!)
- ドリンク・チケットプレゼント
- 一流アーティストによる会員特別コンサートへ無料ご招待 (年1回)
- ピアノ伴奏法講座修了演奏会へ無料ご招待
- いつもお気に入りの席で鑑賞できるリザーブシートサービス!
- 情報誌「AOI通信」など公演情報を無料送付
- AOI以外でもおトクな特典が!

- TSUTAYAすみや (CD、DVDなど割引サービス)
- 静岡アートギャラリー (入場料割引)
- 芹沢銈介美術館 (抽選でチケットプレゼント)
- ポーラ美術館 (入場料割引)

※これらの特典は静岡音楽館AOI主催コンサートが対象です。
※割引・先行発売は静岡音楽館AOIのみでお取扱いたします。
※法人でのお申込みも承ります。(1口10,000円)

■ご入会申込＆お問い合わせは…

静岡音楽館AOI・7階インフォメーションまで
TEL054 (251) 2200 (受付時間 9:00～21:30 (休館日を除く))

手にとるように、音と遊ぼう。
CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

お問合せ (054)251-2200 〒420 8691
静岡市葵区黒金町1番地の9

月曜日休館 (ただし祝日開館、翌日休館)
URL <http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp>
e-mail info@aoi.shizuoka-city.or.jp

JR静岡駅北口を出てすぐ左! 静岡中央郵便局
併設ビル内7～9階

●駿府博物館 ●松坂屋
至浜松 (有料) 至東京 (有料)
●ホテルアソシア静岡
●バルシェ
●ホテルセンチュリー静岡
●静岡科学館
●静岡アートギャラリー

至浜松 駐輪場 (有料) ● JR静岡駅 ● 至東京
東海道本線・新幹線 北口 南口
*お出掛けの際は、なるべく電車、バスなどをご利用ください。
*自転車は駐輪場をご利用ください。